

夏の星空

【児童センター夏の星空7月号】

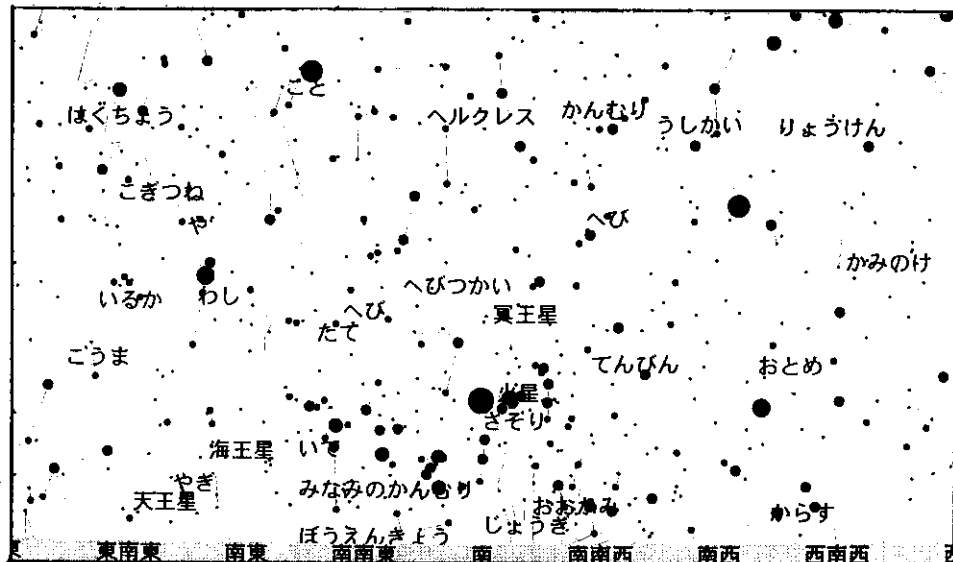
7月7日は“七夕”です。天の川の両岸に輝く「こと座」のベガ（織り姫）と「わし座」のアルタイル（彦星）が1年に一度、天の川にかささぎの橋を使ってデートするせつないお話しです。中国からの伝説ですが、両者（織り姫と彦星）の距離は、光の早さで16年もあります。これでは、毎年デートする事ができませんがロマンのある伝説ですね。現在、日本で行われている“七夕祭り”は奈良時代から始まったものです。

関東地方での梅雨明けは7月下旬頃なので、七夕の夜に夏の天の川や織り姫と彦星を見る機会は少ないですね。

<7月の星空カレンダー>

6日（金）○満月
14日（土）●下弦
21日（土）●新月
27日（金）●上弦

右の星図は、7月中旬夜9時ごろ、南の方向を中心に見た星空です。



☆☆☆☆☆☆

《天文現象》

☆部分月食：7月5日深夜から6日にかけて起こります。6月21日にあった日食はアフリカ南部からマダガスカル方面でしか見ることはできませんが、月食は夜の地球の夜の場所にある地域ならば見ることはできます。5日の夜10時半頃に月の上部が暗くなり、ちょうど深夜0時頃月の半分以上赤暗くなります。

☆水星：日の出、直前東の低空に水星が約1等星で見ることができます。水星は太陽の回りを88日かけて公転しますから、やがて夕方の低空に移動していきます。

☆金星：明けの明星として、金星が日の出前、東天に明るく輝きます。

望遠鏡を使うと、金星の欠けている様子を見ることができます。

☆火星：天の川の南に「さそり座」がありますが、その東（体を南み向けて左）に赤い星が火星です。

